

2023年10月11日

国際原子力機関（IAEA）による日本の海洋試料採取等の確認

国際原子力機関（IAEA）では、日本政府の要請に基づき、我が国の海域モニタリングデータの信頼性、透明性の確保について日本政府を支援するため、2014年から分析機関間比較（ILC：Interlaboratory Comparison）* を実施しています。分析機関間比較事業は、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃炉について、2013年度にIAEAがとりまとめた報告書**に記載された海洋モニタリングに関する助言のフォローアップとして開始されたプロジェクトの一環です。本事業では、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所周辺の海洋試料をIAEAと共同で採取、分割し、IAEA及び日本の各分析機関が個別に分析を行い、IAEAが分析結果の比較評価を行っています。

本年は、10月16日から23日にかけて、IAEA海洋環境研究所の専門家に加え、更なる透明性向上の観点から、IAEAから指名されたカナダ、中国及び韓国の分析機関の専門家も来日し、試料の採取等の実施状況を確認することになりましたので、お知らせします。

このミッションは基本方針¹の発表後に日本政府が要請した、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所に保管されているALPS処理水の取り扱いに関する安全性レビューの一環として、IAEAが現在実施している裏付けも支援します。

なお、本件に関するIAEAのプレスリリース（英文）は以下URLに掲載予定です。

URL：<https://www.iaea.org/press>

¹東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における多核種除去設備等処理水の処分に関する基本方針

記

試料採取等の日程

- 10月16日（月）～17日（火）海水及び海底土の試料採取
- 10月18日（水）～20日（金）水生生物、水産物等の試料採取及び前処理
- 10月23日（月）海底土試料の前処理

（注）

- ・上記日程は、現時点での見込みであり、天候等により変更等の可能性があります。

- ・海水、海底土及び水生生物の試料採取について、現地における特段の取材対応の予定はありませんが、試料採取等の模様を後日公開する予定です。

*IAEA INTERNATIONAL PEER REVIEW MISSION ON MID-AND-LONG-TERM ROADMAP TOWARDS THE DECOMMISSIONING OF TEPCO' S FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER STATION UNITS 1-4 (Second Mission)

(https://www.iaea.org/sites/default/files/IAEAfinal_report120214.pdf)

** 2021年実施分の報告書は、IAEAのホームページで閲覧することができます。また、IAEAが作成した本事業の紹介動画についても閲覧することができます。

(下記URL参照) なお、2022年実施分の報告書については、2023年後半に公表される予定です。

- ・報告書：

https://www.iaea.org/sites/default/files/22/06/2022-06-21_japan_ilc_2021_report_v4.2.pdf

- ・紹介動画：

<https://www.iaea.org/newscenter/multimedia/videos/the-fukushima-data-checkers-monitoring-the-monitors>

《担当》

【海水・海底土・水生生物試料の採取等に関すること】

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：細貝、池田、河野

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)

環境省 水・大気環境局 海洋環境課

担当：前田、石川、有川

電話：03-3581-3351(代表)

03-5521-8306(直通)

【水産物試料の採取等に関すること】

水産庁 増殖推進部 研究指導課

担当：中山、高野、中村

電話：03-3502-8111(代表)

(内線6782)

03-6744-2030(直通)

【IAEAとの協力に関すること】

外務省 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室

担当：西原

電話：03-5501-8000(代表)

(内線2523)

以上